

令和3年度高幡地域アクションプランの
追加、削除、拡充等（予定項目）

高 幡 地 域 本 部

令和3年2月19日（金）

令和3年度地域アクションプランの追加、削除等（予定項目）

地域アクションプランへの支援の方向性

(1) 新規事業の掘り起こしと担い手の育成

- ①発掘支援型アドバイザーにより、地域アクションプランへの位置付けを目指す取り組みを掘り起こし（R2～新規）
- ②地域が主体となって実施するビジネス研修への支援により、産業振興の取り組みを牽引する担い手を育成

(2) 地域への経済波及効果の大きい案件の課題解決に向けた支援の強化

- ①課題一貫支援型アドバイザーにより、地域への経済波及効果が大きい案件に対し、全体的な課題の整理・分析及び解決策の検討を一貫して支援（R2～新規）
- ②課題解決型アドバイザーにより、個別課題の解決を支援

地域アクションプラン数 R2年度 217件 → R3年度 223件（+6）

	R2年度	R3年度				A P 数
	A P 数	増減				
		追加	削除	統合・分割	計	
安芸	31			▲ 1	▲ 1	30
物部川	25	1			1	26
高知市	24		▲ 1		▲ 1	23
嶺北	25					25
仁淀川	33	1			1	34
高幡	37	4			4	41
幡多	42	2			2	44
合計	217	8	▲ 1	▲ 1	6	223

○地域産業クラスタープロジェクト R2年度 18件 → R3年度 19件（+1）

高幡地域アクションプラン項目（第4期計画（R2年度））と第4期

No.	現在(令和2年度)	須 崎 市	中 土 佐 町	梶 原 町	津 野 町	四 万 十 町
		5	11	7	7	13
1	大野見米のブランド化		●			
2	梶原産キジ肉の生産・販売の拡大			●		
3	肉用牛の生産拡大による地域産業の活性化			●		
4	つの茶販売戦略				●	
5	四万十のうまい栗クラスタープロジェクト					●
6	四万十町畑作振興プロジェクト					●
7	四万十のうまい豚クラスタープロジェクト					●
8	四万十次世代ハウス団地におけるトマト栽培の経営強化クラスタープロジェクト					●
9	「四万十ヒノキ」をはじめとする地域森林資源の販売促進		●			●
10	「1億円産業の復活」をスローガンとする津野山産原木シイタケの産地化の推進			●	●	
11	四万十川源流等中山間資源活用ビジネスの創出		●			
12	循環型社会を推進するための森林資源の有効活用			●		
13	津野町森林・林業再生プロジェクト				●	
14	浦ノ内湾産養殖マダイ等の販路拡大	●				
15	葉にんにくを活用した加工食品の生産・販売の拡大	●				
16	中土佐町地域ブランドの創出と販売促進		●			
17	大正町市場商店街活性化事業		●			
18	中土佐町SEAプロジェクト		●			
19	「中土佐のうまいもん食わしちやお」商品開発プロジェクト		●			
20	中土佐町地産外商の取り組み		●			
21	梶原町地場産品の地産地消・外商の促進			●		
22	津野町地産地消・外商販売戦略				●	
23	四万十町地域資源活用推進と豚まん加工場等の整備					●
24	四万十町産鶏卵を使用した加工品の生産拡大					●
25	四万十町生姜生産農家と連携した集出荷体制の整備と商品開発					●
26	高幡地域における広域観光の推進	●	●	●	●	●
27	須崎市立スポーツセンターを活用した体験型観光等の推進による地域の活性化	●				
28	須崎市の教育旅行や団体旅行の誘致に向けた体制の整備	●				
29	中土佐町の地域資源を活用した体験型・滞在型観光の推進		●			
30	「黒潮本陣」を核とした滞在型観光推進		●			
31	梶原町の体験型・滞在型観光の推進			●		
32	清流と風と歴史に会えるまち津野町まるごと体感！～観光集客アップ作戦～				●	
33	四国カルストを核とした交流人口の拡大と地域の活性化プロジェクト				●	
34	わざわざいこう「海洋堂ホビー館四万十」を核としたミュージアムのまちづくり					●
35	四万十町観光交流促進事業					●
36	四万十町オアシス風観光交流拠点整備事業					●
37	ジップラインと道の駅を核とした四万十町(十和地区)の観光拠点施設整備事業					●

計画Ver. 2 (R3年度) の対比表

【高幡地域】

	須崎市	中土佐町	梶原町	津野町	四万十町	No.	改定案(令和3年度)
	6	12	8	8	11		
①追加	●	●		●		1	くろしおミヨウガ生産拡大クラスタープロジェクト
		●				2	大野見米のブランド化
			●			3	梶原産キジ肉の生産・販売の拡大
			●			4	肉用牛の生産拡大による地域産業の活性化
				●		5	つの茶販売戦略
					●	6	四万十のうまい栗クラスタープロジェクト
					●	7	四万十町畑作振興プロジェクト
					●	8	四万十のうまい豚クラスタープロジェクト
					●	9	四万十次世代ハウス団地におけるトマト栽培の経営強化クラスタープロジェクト
	●			●		10	「四万十ヒノキ」をはじめとする地域森林資源の販売促進
		●	●			11	「1億円産業の復活」をスローガンとする津野山産原木シイタケの産地化の推進
	●					12	四万十川源流等中山間資源活用ビジネスの創出
		●				13	循環型社会を推進するための森林資源の有効活用
			●			14	津野町森林・林業再生プロジェクト
②追加	●					15	浦ノ内湾産養殖マダイ等の販路拡大
		●				16	アメガ養殖事業の再生拡大
	●					17	葉にんにくを活用した加工食品の生産・販売の拡大
		●				18	中土佐町地域ブランドの創出と販売促進
		●				19	大正町市場商店街活性化事業
		●				20	中土佐町SEAプロジェクト
		●				21	「中土佐のうまいもん食わしちゃお」商品開発プロジェクト
		●				22	中土佐町地産外商の取り組み
			●			23	梶原町地場産品の地産地消・外商の促進
				●		24	津野町地産地消・外商販売戦略
					●	25	四万十町地域資源活用推進と豚まん加工場等の整備
					●	26	四万十町産鶏卵を使用した加工品の生産拡大
					●	27	四万十町生姜生産農家と連携した集出荷体制の整備と商品開発
③追加					●	28	四万十町産材を活用した商品開発プロジェクト
④追加					●	29	四万十うなぎを活用した加工場整備と販路拡大
	●	●	●	●	●	30	高幡地域における広域観光の推進
	●					31	須崎市立スポーツセンターを活用した体験型観光等の推進による地域の活性化
	●					32	須崎市の教育旅行や団体旅行の誘致に向けた体制の整備
		●				33	中土佐町の地域資源を活用した体験型・滞在型観光の推進
		●				34	「黒潮本陣」を核とした滞在型観光推進
			●			35	梶原町の体験型・滞在型観光の推進
				●		36	清流と風と歴史に会えるまち津野町まるごと体感！～観光集客アップ作戦～
				●		37	四国カルストを核とした交流人口の拡大と地域の活性化プロジェクト
					●	38	わざわざいこう「海洋堂ホビー館四万十」を核としたミュージアムのまちづくり
					●	39	四万十町観光交流促進事業
					●	40	四万十町オアシス風観光交流拠点整備事業
					●	41	ジップラインと道の駅を核とした四万十町(十和地区)の観光拠点施設整備事業

高幡地域アクションプランの追加・削除・拡充等（予定項目）

■追加

NO.	アクションプラン名	事業概要
1	くろしおミョウガ生産拡大クラスタープロジェクト（須崎市、梶原町、津野町） 【実施主体】JA 土佐くろしお、須崎市、中土佐町、津野町、(株)E-システム	JA 土佐くろしお管内（須崎市・中土佐町・津野町）で栽培するミョウガの生産拡大を核として、生産に関連する循環型養液システム、ヤシガラ培地活用スキーム、優良種茎の安定供給体制を構築する。 日本一の「ミョウガ」産地として、一次・二次・三次が連携し、認知度向上に向けた取り組みを推進することにより、ミョウガの消費拡大を目指す。
2	アメゴ養殖事業の再生拡大（梶原町） 【実施主体】集落活動センター「おちめん」	江戸時代の記録に残るほど古くから親しまれた梶原のアメゴ養殖の担い手の育成確保、養殖環境整備及び供給体制の構築を通じて、再生拡大することにより、地域経済の発展と水産資源保護を図る。
3	四万十町産材を活用した商品開発プロジェクト（四万十町） 【実施主体】OUCHI 企画(同)	四万十町の豊富な森林資源や四万十ヒノキブランドを生かしつつ、大工OBの人材（技術）活用して、タイニーハウス、サウナ、樽といった商品を製造するとともに、県内外への販路拡大を図りながら、観光交流人口の拡大や地域の活性化に繋げる。
4	四万十うなぎを活用した加工場整備と販路拡大（四万十町） 【実施主体】四万十うなぎ株式会社	輸出にも対応した高度な衛生管理を満たし、かつ自社での一貫した加工が可能な施設整備をすることにより、雇用を創出するとともに、新商品の開発や既存商品も含めた国内外への販路拡大によって「四万十うなぎ」の知名度のさらなる向上を目指す。

■削除 該当なし

■その他(拡充、統合、分割)

NO.	アクションプラン名	見直しする内容
1	No. 31 梶原町の体験型・滞在型観光の推進（梶原町） 【実施主体】梶原町商工会、梶原町、松原まろうど会、坂本龍馬脱藩の郷 ゆすはらであいの会	【拡充】雲の上のホテル・道の駅を含めた太郎川公園の整備に関して、実施設計の着手等具体的な取り組みを拡充する。

追加項目（案）

追加

高幡地域アクションプラン		分野	農業
AP名 (実施地域)	No.1 くろしおミョウガ生産拡大クラスタープロジェクト (須崎市・中土佐町・津野町)		
実施主体	◎JA 土佐くろしお、須崎市、中土佐町、津野町、(株)E-システム		
APへの 位置づけ	R 3.4月		
事業概要	<p>JA 土佐くろしお管内（須崎市・中土佐町・津野町）で栽培するミョウガの生産拡大を核として、生産に関連する循環型養液システム、ヤシガラ培地活用スキーム、優良種茎の安定供給体制を構築する。</p> <p>日本一の「ミョウガ」産地として、一次・二次・三次が連携し、認知度向上に向けた取り組みを推進することにより、ミョウガの消費拡大を目指す。</p>		

指標	出発点	実績		目標
		R元	R2	R5
新規雇用者数（累計）	－	同左	0名	4名
ミョウガを使ったメニューの 定番化(累計)	0品	同左	0品	4品
ミョウガ生産拡大面積 (土佐くろしお)	－	同左	45a	200a (R2～5 累計)
ミョウガ出荷量※	3,614 t	同左	3,620 t	3,800 t

※園芸年度：9～8月

これまでの主な動き	
<p><これまでの取り組みの内容></p> <p>◆ミョウガの生産拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> プロジェクトチームの編成、計画内容の協議（R2） ハウス整備（県補助事業）（R2） ヤシガラ培地活用事業スキームの検討（R2） <p>◆ミョウガの販売促進</p> <ul style="list-style-type: none"> 販売促進方法の検討（コロナ禍を想定したミョウガの新たな使い方提案など）（R2） ミョウガ出荷体系の効率化（パック詰め機等の導入）（R2） とさつ子広場からの情報発信手法の検討（R2） <p>◆ミョウガの収量・品質の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> 実証試験、調査（環境制御技術・花蕾腐敗対策・病虫害防除など）（R2） 循環型養液システムに係る課題解決及び導入推進（R2） 優良系統の選抜、培地吹き飛ばし事業化の協議（R2） 	<p><主な成果></p> <ul style="list-style-type: none"> 「くろしおミョウガ生産拡大プロジェクト」調印式（3/17） 「土佐くろしお管内再生ヤシガラ対策協議会」体制の整備（3/17） <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ヤシガラ培地活用スキームの構築 地域事業者等と連携したミョウガの消費拡大の推進 ミョウガ出荷体系の効率化・省力化 農家負担を軽減させる種茎の安定供給体制のルールづくり及び体制の構築

第4期計画における行程表					
主な取り組み	R2	R3	R4	R5	R6 以降
◆ミョウガの生産 拡大	プロジェクトチーム等によるプラン進捗状況確認・プラン見直し				
	<ul style="list-style-type: none"> ●プロジェクトチーム：年1回開催。1次、2次・3次WGの協議結果を受けて、活動実績及び計画を協議。 ●1次、2次・3次WG：作業チームとして3体制を構築し、年2回のチーム会を開催して進捗状況等を協議。 				
	ミョウガの生産拡大				
	<ul style="list-style-type: none"> ●JA 土佐くろしお：ハウス整備、次年度整備計画の作成、生産拡大に伴う施設（輸入資材用 SGD 倉庫）整備 ●須崎市、中土佐町、津野町、県：補助事業等による支援 				
◆ミョウガの販売 促進	ヤシガラ培地活用スキームの構築				
	<ul style="list-style-type: none"> ●JA 土佐くろしお、(株)E-システム：ヤシガラ培地活用事業スキーム構築、事業に関連する施設及び設備の整備 ●JA 土佐くろしお、(株)E-システム、須崎市、中土佐町、津野町、県：協議会体制によるヤシガラ培地適正利用の確認 				
	◆ミョウガの販売 促進				
	<ul style="list-style-type: none"> ●JA 土佐くろしお：販売促進方法の検討、とさつ子広場からの新たな使い方提案の情報発信 など ●須崎市、中土佐町、津野町、県(地域本部等)：JA と協力して地域事業者への新たな使い方提案のサポート ●地域事業者等：ミョウガ消費拡大の取り組みへの参画、連携方法の検討 				
◆ミョウガの取 量・品質の向上	ミョウガ出荷体系の効率化・省力化				
	<ul style="list-style-type: none"> ●JA 土佐くろしお：機器の導入による出荷体系の効率化・省力化への実践 ●須崎市、中土佐町、津野町、県：補助事業等による支援 				
	◆ミョウガの取 量・品質の向上				
	<ul style="list-style-type: none"> ●JA 土佐くろしお、県（農振セ）：収量向上につながる試験、調査（環境制御技術・花蕾腐敗対策 など）部会等への試験結果などの情報提供及び取り組みの推進 				
◆ミョウガの取 量・品質の向上	循環型養液システムの普及（環境に配慮した農業の実践）				
	<ul style="list-style-type: none"> ●JA 土佐くろしお、県（農振セ）：循環型養液システム導入の推進、導入する際に解決すべき事項の調査等 ●須崎市、中土佐町、津野町、県：補助事業等による支援 				
	優良種茎の安定供給体制の構築				
	<ul style="list-style-type: none"> ●JA 土佐くろしお、(株)E-システム、県（農振セ）：事業化に向けたルール検討・試験実施・事業化・装置等の整備 ●須崎市、中土佐町、津野町、県：補助事業等による支援 				

追加項目（案）

追加

高幡地域アクションプラン

分野

水産業

AP名 (実施地域)	No.16 アメゴ養殖事業の再生拡大 (梶原町)
実施主体	◎集落活動センター「おちめん」、梶原町
APへの 位置づけ	R3.4月
事業概要	江戸時代の記録に残るほど古くから親しまれた梶原のアメゴ養殖の担い手の育成確保、養殖環境整備及び供給体制の構築を通じて、再生拡大することにより、地域経済の発展と水産資源保護を図る。

指標	出発点	実績		目標
		R元	R2	R5
売上高	0万円 (R元)	同左		400万円

これまでの主な動き

<p><これまでの取り組みの内容></p> <p>◆生産体制の確立・強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アメゴ養殖部会の設立に向けた検討会の開催（R2） <p>◆担い手の確保・伝承</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集落活動センター「おちめん」内に「アメゴ養殖事業推進プロジェクト」を立ち上げ（R2.9月） ・養殖事業を担う新たな担い手の募集（R2.9月～） <p>◆販路の拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町内飲食店への販売の検討（R2） ・町事業者への供給の検討（R2） <p><主な成果></p> <ul style="list-style-type: none"> ・担い手の確保：1名（R2.10月） 	<p><課題></p> <p>養殖アメゴの安定生産、安定供給</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水量水質の確保 ・養殖施設の整備改良 ・販路の拡大 ・人材の育成
--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

第4期計画における行程表					
主な取り組み	R2	R3	R4	R5	R6以降
◆生産体制の確立・強化		組織の検討	運営組織の設立・強化		
	<ul style="list-style-type: none"> ●集落活動センターおちめん：アメゴ養殖部会の設立 ●県（地域本部等）：会議への参加、関係機関への橋渡し 		<ul style="list-style-type: none"> ●梶原町：組織の機能、スキームの検討と設立 アメゴ養殖部会を発展させ、新たな担い手法人を設立 成魚生産量8万尾（R8年度～現状2万尾）を実現する 養殖池造成等養殖環境整備 ●県（内水面漁業センター）：生産増加のためのアドバイス 		
			養殖環境整備・運営		
			<ul style="list-style-type: none"> ●梶原町：安定供給に向けた養殖施設の整備の検討・実施 ●県（内水面漁業センター）：検討会議への参加・助言 		
◆担い手の確保・伝承		人材確保・人材育成による増産体制の確立			
			<ul style="list-style-type: none"> ●梶原町（集落活動センターおちめん）：現事業者の下で、新たな担い手へ養殖技術の伝承 ●県（内水面漁業センター、地域本部）：増産に対する提案・助言、産振アドバイザーの導入検討 		
◆販路の拡大		町内飲食事業者への安定供給と町外同業者へのPR強化			
		<ul style="list-style-type: none"> ●梶原町（集落活動センターおちめん）： <ul style="list-style-type: none"> ・アメゴ養殖を行う町外同業者への販促活動及び供給先の開拓拡大 ・町事業及び町内飲食店への安定供給 ・集落活動センター「ゆすはら西」の推進するゆすはらジビエと連携した販促活動の実施 ・アメゴ放流事業の実施及び太郎川公園再生に伴う新たなレストランでのメニュー化・土産品の開発 ●県（地域本部等）：県主催の商談会への出展依頼、商品開発のための産振アドバイザーの活用提案 各種支援制度に関する情報提供、関係機関への橋渡し 			

追加項目（案）

追加

高幡地域アクションプラン

分野

商工業

AP名 (実施地域)	No.28 四万十町産材を活用した商品開発プロジェクト (四万十町)
実施主体	◎OUCHI 企画(同)
APへの 位置づけ	R3.2月
事業概要	四万十町の豊富な森林資源や四万十ヒノキブランドを活かしつつ、大工OBの人材（技術）活用して、タイニーハウス、サウナ、樽といった商品を製造するとともに、県内外への販路拡大を図りながら、観光交流人口の拡大や地域の活性化に繋げる。

指標	出発点	実績		目標
		R元	R2	R6
売上高	300万円 (R2見込)	-		1,500万円

これまでの主な動き

<これまでの取り組みの内容>

◆組織体制の強化

- ・四万十町ビジネスプランコンテストにて大賞を受賞（H29）
- ・産業振興アドバイザー（発掘支援型）の活用（R2：4回）

◆商品の開発と販路拡大

- ・サウナ試作品が完成、販売開始（R2～）
- ・樽製造技術習得、商品開発（R2～）
- ・産業振興推進総合支援事業費補助金（ステップアップ事業）を活用したサウナストーブの開発（R2）

◆生産拠点の検討と整備

- ・タイニーハウス、サウナ、その他木製品の製造販売を行うOUCHI 企画(同)を設立（R2.11月）

<主な成果>

- ・サウナの販売：10個(販売見込みを含む)

<課題>

- ・売り先の確保、流通ルートの確立
- ・従業員の育成、確保
- ・樽製造技術の確立

第4期計画における行程表					
主な取り組み	R2	R3	R4	R5	R6 以降
◆組織体制の強化		実施主体の体制強化 <ul style="list-style-type: none"> ● OUCHI 企画(同)：事業計画の策定、実施主体の確立、新たな人材の確保 ● 県（地域本部等）：体制強化に向けた産業振興アドバイザーの活用提案、各種支援制度に関する情報提供 			
		関連事業者等との連携強化 <ul style="list-style-type: none"> ● OUCHI 企画(同)：関連事業者との役割分担の確立、増産体制の確立、観光事業者との連携、イベント等への出店 ● 県（地域本部等）：体制強化に向けた産業振興アドバイザーの活用提案、各種支援制度に関する情報提供 			
◆商品の開発と販路拡大		既存商品の磨き上げと新商品の開発 <ul style="list-style-type: none"> ● OUCHI 企画(同)：製造技術の向上、商品（樽・プランタ）の開発、サウナストーブの改良 ● 県（地域本部等）：商品開発に向けた産業振興アドバイザーの活用提案、各種支援制度に関する情報提供 			
		販路拡大 <ul style="list-style-type: none"> ● OUCHI 企画(同)：流通体制の確立、首都圏・関西圏に向けた広報、販促物の製作（HP、EC サイト制作、パンフレット、映像など）、ギフトショーへの出展・マーケティングによる販促活動 ● 県（地域本部等）：販路拡大に向けた産業振興アドバイザーの活用提案、各種支援制度に関する情報提供、県主催の商談会情報提供 			
◆生産拠点の検討と整備		生産拠点の検討と整備 <ul style="list-style-type: none"> ● OUCHI 企画(同)：生産拠点の検討、樽製造機器の導入 ● 県（地域本部等）：生産設備整備に向けた産業振興アドバイザーの活用提案、各種支援制度に関する情報提供 			

追加項目（案）

追加

高幡地域アクションプラン

分野

商工業

AP名 (実施地域)	No.29 四万十うなぎを活用した加工場整備と販路拡大 (四万十町)
実施主体	四万十うなぎ(株)
APへの 位置づけ	R3.4月
事業概要	輸出にも対応した高度な衛生管理を満たし、かつ自社での一貫した加工が可能な施設整備をすることにより、雇用を創出するとともに、新商品の開発や既存商品も含めた国内外への販路拡大によって「四万十うなぎ」の知名度のさらなる向上を目指す。

指標	出発点	実績		目標
		R元	R2	R5
販売額	9億円 (R2見込)	—		11.2億円

これまでの主な動き

<p><これまでの取り組みの内容></p> <p>◆施設整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現加工場で県版 HACCP 第2ステージ認証取得 (H29.10月) <p>◆商品開発・販売</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内外の商談会、イベント等への積極的な出展 ・タイ(バンコク)に直営店を出店(R元.3月) 	<p><主な成果></p> <p>◆雇用の創出</p> <p>R2:19人</p> <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・輸出のための衛生環境整備 ・加工(一部)委託によるコスト高
-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

第4期計画における工程表					
主な取り組み	R2	R3	R4	R5	R6以降
◆施設整備			農地転用等	加工場整備	加工場稼働
	<ul style="list-style-type: none"> ●四万十うなぎ(株) : 農地転用、用地取得など ●県(地域本部、地産地消・外商課等) : 加工場整備にかかる各種事業の支援 		<ul style="list-style-type: none"> ●四万十うなぎ(株) : 各種衛生認証の取得など ●県(地域本部、地産地消・外商課等) : 衛生認証取得関連のセミナー等の紹介 		
◆商品開発・販売	新商品の開発・検討				
	<ul style="list-style-type: none"> ●四万十うなぎ(株) : 四万十うなぎを活用した新たな商品開発、加工の段階で出るB級品の商品化検討など ●県(地域本部、地産地消・外商課等) : 産業振興アドバイザーの活用提案、商品のブラッシュアップ関連のセミナー紹介 その他、各種支援制度に関する情報提供 				
◆人材確保・育成	(国内外向け) 販促活動				
	<ul style="list-style-type: none"> ●四万十うなぎ(株) : 催事および商談会等への出展 ●県(地域本部、地産地消・外商課等) : 外商会社へのつなぎ、商談会等の開催周知、その他、各種支援制度に関する情報提供 				
	加工場の人材確保				
	<ul style="list-style-type: none"> ●四万十うなぎ(株) : ハローワーク等を通じた加工場の人材確保 ●県(地域本部等) : 人材確保センターへのつなぎ、その他、各種支援制度に関する情報提供 				

修正項目（案）

修正前

高幡地域アクションプラン

分野

観光

AP名 (実施地域)	No.31 栲原町の体験型・滞在型観光の推進 (栲原町)
実施主体	◎栲原町商工会、栲原町、松原まろうど会、坂本龍馬脱藩の郷 ゆすはらであいの会
APへの位置づけ	H21.4月
事業概要	「坂本龍馬脱藩の郷」としての取り組みや、まち歩きやセラピーロードをはじめとした体験型観光を継続しながら、隈研吾施設を活用した新たな取り組みを推進する。また、住民主体のおもてなし、受入態勢や基盤の一層の充実を図り、環境・いやしのまち栲原の取り組みと併せて旅行会社、企業、大学などへの誘致活動のほか、海外旅行者の誘致を図り、体験型・滞在型観光を推進する。

指標	出発点	実績				目標
	H30	R2	R3	R4	R5	R5
(1) 宿泊者数	8,285 人					9,000 人
(2) 施設利用者数	96,236 人					105,000 人

これまでの主な動き

<これまでの取り組みの内容>

◆体験プログラムの造成、磨き上げ及び受入態勢の充実

- ・町立歴史民俗資料館「栲原千百年物語り」のリニューアルオープン（H29）
- ・実施事業者が土佐の観光創生塾を受講（H30～）
- ・観光案内施設まろうど館及び栲原千百年物語り前駐車場の整備

◆誘客活動

- ・旅行会社への誘客活動（通年）
- ・「環境の町」「龍馬脱藩の里」「セラピー基地・ロードによるいやしのまち」等を前面に出した旅行会社、企業、大学等へのセールスを実施
- ・隈研吾ミュージアムの整備（R元）

◆森林セラピー受入態勢の強化

- ・栲原町観光クラスター協議会開催（H30：3回）
- ・久保谷森林セラピーロードでの新緑まつり・紅葉まつりの開催

- ・久保谷森林セラピーロードの案内板及びパンフレットを多言語化にリニューアル（H30）

◆受入基盤の整備

- ・高知県観光拠点等整備事業を活用し、久保谷森林セラピーロードの増水時にも安全に渡ることができる架橋建設実施

<主な成果>

◆入込数

- ・栲原千百年物語り来館者数
H29：6,459人 → H30：7,682人
- ・太郎川公園内施設利用者数
H27：110,914人 → H30：134,500人

<課題>

- ・観光情報の発信・誘客活動の強化
- ・観光客の受入態勢の整備

第4期計画における行程表					
主な取り組み	R2	R3	R4	R5	R6以降
◆体験プログラムの造成、磨き上げ及び受入態勢の充実	梶原町の自然や文化を生かす取り組み				
	<ul style="list-style-type: none"> ●梶原町商工会、梶原町、坂本龍馬脱藩の郷 ゆすはらであいの会： 津野山神楽等ゆすはら座での地域資源を生かした体験プログラムの造成・磨き上げ、観光協会設立の検討、インバウンド対応のための取り組みを視野に入れたゆすはら座改修の検討、土佐の観光創生塾や関係する研修等の受講 ●県（地域本部等）： 体験プログラムについて産振アドバイザー等の活用提案、その他、各種支援制度に関する情報提供、土佐の観光創生塾の受講、関係機関への橋渡し 				
◆誘客活動	誘客のための情報発信				
	<ul style="list-style-type: none"> ●梶原町： 「環境のまち」「龍馬脱藩の郷」「セラピーロードによるいやしのまち」等を前面に出した旅行会社、企業、大学等へのセールス及び販促ツールの作成、専門家を通じた情報発信のスキルアップ、ウェブサイトの開設 ●県（地域本部等）： SNSを活用するための産振アドバイザーの活用提案、土佐 MBA 等の講座等の紹介 				
	隈研吾氏設計による建築物を核とした観光資源の磨き上げ				
◆森林セラピー受入態勢の強化	森林セラピーの受入態勢の充実				
	<ul style="list-style-type: none"> ●梶原町、松原まろつど会： 久保谷森林セラピーロードの登録ガイド育成・スキルアップ 				
◆受入基盤の整備	重点道の駅として選定されたセラピー基地である太郎川公園の新たな整備を検討				
	<ul style="list-style-type: none"> ●梶原町、商工会： 観光施設の整備検討、磨き上げ ●県（地域本部等）： 整備等に向けた会議への参加、アドバイザーの導入提案、関係機関への橋渡し 				
<p>【用語】 ・SNS：「Social Networking Service」の略。インターネットを通じて個人間の幅広いコミュニケーションを支援するサービスのこと。代表的な SNS としては、Facebook などがある。</p>					

修正後

高幡地域アクションプラン

分野

観光

AP名 (実施地域)	No.35 梶原町の体験型・滞在型観光の推進 (梶原町)
実施主体	◎梶原町商工会、梶原町、松原まろうど会、坂本龍馬脱藩の郷 ゆすはらであいの会
APへの位置づけ	H21.4月
事業概要	「坂本龍馬脱藩の郷」としての取り組みや、まち歩きやセラピーロードをはじめとした体験型観光を継続しながら、隈研吾施設を活用した新たな取り組みを推進する。また、住民主体のおもてなし、受入態勢や基盤の一層の充実を図り、環境・いやしのまち梶原の取り組みと併せて旅行会社、企業、大学などへの誘致活動のほか、海外旅行者の誘致を図り、体験型・滞在型観光を推進する。

指標	出発点	実績		目標
		R元	R2	R5
(1) 宿泊者数	8,285人 (H30)	8,279人		9,000人
(2) 施設利用者数	96,236人 (H30)	93,459人		105,000人

これまでの主な動き

<p><これまでの取り組みの内容></p> <p>◆体験プログラムの造成、磨き上げ及び受入態勢の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町立歴史民俗資料館「梶原千百年物語り」のリニューアルオープン (H29) ・実施事業者が土佐の観光創生塾を受講 (H30～) ・観光案内施設まろうど館及び梶原千百年物語り前駐車場の整備 <p>◆誘客活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旅行会社への誘客活動 (通年) ・「環境の町」「龍馬脱藩の里」「セラピー基地・ロードによるいやしのまち」等を前面に出した旅行会社、企業、大学等へのセールスを実施 ・隈研吾ミュージアムの整備 (R元) ・隈研吾建築案内ガイド開始 (R2.6～) <p>◆森林セラピー受入態勢の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・梶原町観光クラスター協議会開催 (H30: 3回) ・久保谷森林セラピーロードでの新緑まつり・紅葉まつりの開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・久保谷森林セラピーロードの案内板及びパンフレットを多言語化にリニューアル (H30) ・久保谷セラピーロードガイドウォーク (R元: 285人) <p>◆受入基盤の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高知県観光拠点等整備事業を活用し、久保谷森林セラピーロードの増水時にも安全に渡ることができる架橋建設実施 <p><主な成果></p> <p>◆入込数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・梶原千百年物語り来館者数 H29: 6,459人 → H30: 7,682人 → R元: 3,759人 ・太郎川公園内施設利用者数 H27: 110,914人 → H30: 134,500人 → R元: 93,459人 <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光情報の発信・誘客活動の強化 ・観光客の受入態勢の整備
---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

第4期計画における行程表					
主な取り組み	R2	R3	R4	R5	R6以降
◆体験プログラムの造成、磨き上げ及び受入態勢の充実	<p>梶原町の自然や文化を生かす取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ●梶原町商工会、梶原町、坂本龍馬脱藩の郷 ゆずはらであいの会： 津野山神楽等ゆずはら座での地域資源を生かした体験プログラムの造成・磨き上げ、観光協会設立の検討、インバウンド対応のための取り組みを視野に入れたゆずはら座改修の検討、土佐の観光創生塾や関係する研修等の受講 ●県（地域本部等）： 体験プログラムについて産業振興アドバイザー等の活用提案、その他、各種支援制度に関する情報提供、土佐の観光創生塾の受講、関係機関への橋渡し 				
◆誘客活動	<p>誘客のための情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ●梶原町： 「環境のまち」「龍馬脱藩の郷」「セラピーロードによるいやしのまち」等を前面に出した旅行会社、企業、大学等へのセールス及び販促ツールの作成、専門家を通じた情報発信のスキルアップ、ウェブサイトの開設 ●県（地域本部等）： SNSを活用するための産業振興アドバイザーの活用提案、土佐 MBA 等の講座等の紹介 <p>隈研吾氏設計による建築物を核とした観光資源の磨き上げ</p> <ul style="list-style-type: none"> ●梶原町： オリジナル土産の開発、隈研吾氏設計の町内建築物を紹介する映像やパンフレットによるPR ●県（地域本部等）： 土産物の開発等に関するアドバイザーの活用、関係機関への橋渡し 				
◆森林セラピー受入態勢の強化	<p>森林セラピーの受入態勢の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ●梶原町、松原まろうど会： 久保谷森林セラピーロードの登録ガイド育成・スキルアップ 				
◆受入基盤の整備 (1) ホテル・道の駅 (2) 太郎川公園エリア	<p>実施設計 → 施設整備（建築工事） → オープン</p> <ul style="list-style-type: none"> ●梶原町、商工会： 雲の上のホテル・道の駅のリニューアルオープンに向けた基盤整備 ●県（地域本部等）： 整備等に向けた会議への参加、アドバイザーの導入提案、関係機関への橋渡し <p>運営組織の設立</p> <p>太郎川公園整備順次実施（個別に設計・施工）</p>				
<p>【用語】・SNS：「Social Networking Service」の略。インターネットを通じて個人間の幅広いコミュニケーションを支援するサービスのこと。代表的な SNS としては、Facebook などがある。</p>					

修正項目（案）

修正前

高幡地域アクションプラン

分野

水産業

AP名 (実施地域)	No.14 浦ノ内湾産養殖マダイ等の販路拡大 (須崎市)
実施主体	◎土佐鯛工房、◎(株)小島水産、◎乙女会、◎(株)大東冷蔵、高知県漁協深浦支所
APへの 位置づけ	H25.4月
事業概要	養殖魚（マダイ）生産者グループと養殖業に関連した民間企業、漁協とが連携し、他産地の生産動向や県外大手出荷業者の販売戦略に左右されにくい販売力（魚価形成力、取引量の拡大等）を構築し、養殖業の振興に資する。

指標	出発点	実績				目標
	H30	R2	R3	R4	R5	R5
(1) 海援鯛出荷尾数	6.6万尾					10万尾
(2) 乙女鯛出荷尾数	20.3万尾					30万尾

これまでの主な動き

<これまでの取り組みの内容>

◆品質の維持・向上と生産量の確保

- ・新規漁業就業者の確保を目的とした漁業就業セミナーの開催（H27:1回、R元:1回）
- ・生産者の確保を目的とした新規漁業就業者の長期研修生受入（H29:1名、H30:1名）

◆販路開拓と出荷体制の強化

- ・バイヤーや飲食店事業者を対象とした産地見学会の開催（H28:13回、H29:2回、H30:5回）
- ・県内外商談会への出展（H27:4回、H28:3回、H29:3回）
- ・海外への輸出の開始（H29）
→ 生産量が確保できず、現在休止中

◆加工体制の強化・新商品の開発

- ・革新的ものづくり・商業・サービス開発支援補助金等を活用した先進的な加工機器（金属探知機、うろこ落とし機、フレマシン等）の導入（H25～26）
- ・HACCP研修等の受講（H29～30）
- ・衛生管理の強化に向け、県版 HACCP 第3ステージの認証取得（H30.10月）

<主な成果>

◆後継者の確保

長期研修生2名の確保（土佐鯛工房）

<課題>

- ・生産者及び生産量の確保
- ・さらなる販路の拡大に向け、販売促進

第4期計画における行程表					
主な取り組み	R2	R3	R4	R5	R6以降
◆品質の維持・向上と生産量の確保	後継者及び生産者の確保				
	<ul style="list-style-type: none"> ●土佐鯛工房： 担い手育成団体支援事業等による新規就業者の確保及び指導による技術移転 ●乙女会： 販路拡大等有利販売の強化による生産者の乙女会への新規加入促進を通じた生産量の増加 ●県（中央漁業指導所等）、高知県漁協深浦支所： 新規漁業就業セミナー等の開催支援、漁業就業フェアの開催及び支援制度等に関する情報提供 				
◆販路開拓と出荷体制の強化	既存販路の継続及び新たな販路の拡大				
	<ul style="list-style-type: none"> ●(株)大東冷蔵： 県内外商談会への出展、産地見学会の開催、ふるさと納税返礼品取り扱い等による販路の拡大 ●(株)小島水産： 県内外商談会への出展、ふるさと納税返礼品取り扱いや個別の商談等による販路の拡大 ●県（中央漁業指導所等）： 県内外商談会等の紹介、商談会の出展等に係る支援制度の情報提供、関係者への橋渡し 				
◆加工体制の強化・新商品の開発	加工施設の拡張		新商品の開発		
	<ul style="list-style-type: none"> ●(株)小島水産： 加工施設の規模拡大及び高性能加工機械の導入による加工商品の生産能力の強化 ●県（地域本部等）： 産業振興推進総合支援事業費補助金等の活用に係る支援 		<ul style="list-style-type: none"> ●(株)小島水産： コンセプトづくり、試作品づくり、市場調査（消費者の意見集約）、製造方法等の検討、商品改良、商品化の実現 ●県（地域本部等）： 試作品づくりへのアドバイスを得るための産振アドバイザーの活用提案、加工品試作に係る支援制度の情報提供 		

修正後

高幡地域アクションプラン

分野

水産業

AP名 (実施地域)	No.15 浦ノ内湾産養殖マダイ等の販路拡大 (須崎市)
実施主体	◎土佐鯛工房、◎(株)小島水産、◎乙女会、◎(株)大東冷蔵、高知県漁協深浦支所
APへの位置づけ	H25.4月
事業概要	養殖魚(マダイ)生産者グループと養殖業に関連した民間企業、漁協とが連携し、他産地の生産動向や県外大手出荷業者の販売戦略に左右されにくい販売力(魚価形成力、取引量の拡大等)を構築し、養殖業の振興に資する。

指標	出発点	実績		目標
		R元	R2	R5
(1) 海援鯛出荷尾数	6.6万尾 (H30)	6.2万尾		10万尾
(2) 乙女鯛出荷尾数	20.3万尾 (H30)	24.1万尾		30万尾

これまでの主な動き

<p><これまでの取り組みの内容></p> <p>◆品質の維持・向上と生産量の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> 新規漁業就業者の確保を目的とした漁業就業セミナーの開催(H27:1回、R元:1回) 生産者の確保を目的とした新規漁業就業者の長期研修生受入(H29:1名、H30:1名) <p>◆販路開拓と出荷体制の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> バイヤーや飲食店事業者を対象とした産地見学会の開催(H28:13回、H29:2回、H30:5回) 県内外商談会への出展(H27:4回、H28:3回、H29:3回) 海外への輸出の開始(H29) → 生産量が確保できず、現在休止中 <p>◆加工体制の強化・新商品の開発</p> <ul style="list-style-type: none"> 革新的ものづくり・商業・サービス開発支援補助金等を活用した先進的な加工機器(金属探知機、うろこ落とし機、ファイルマシン等)の導入(H25~26) HACCP研修等の受講(H29~30) 衛生管理の強化に向け、県版HACCP第3ステージの認証取得(H30.10月) 	<p>◆加工体制の強化・新商品の開発(続き)</p> <ul style="list-style-type: none"> 加工施設の拡張に向けた産業振興推進総合支援事業費事業への採択申請(R2.1月) <p><主な成果></p> <p>◆後継者の確保</p> <p>長期研修からの独立1名(土佐鯛工房)</p> <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> コロナウィルスの影響による出荷数量減少を背景とした販売先の確保 さらなる販路の拡大に向け、販売促進
----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

第4期計画における行程表					
主な取り組み	R2	R3	R4	R5	R6以降
◆品質の維持・向上と生産量の確保	後継者及び生産者の確保				
	<ul style="list-style-type: none"> ●土佐鯛工房： 新規就業者の確保及び指導による技術移転 ●乙女会： 販路拡大等有利販売の強化による生産者の乙女会への新規加入促進を通じた生産量の増加 ●県（中央漁業指導所等）、高知県漁協深浦支所： 新規漁業就業セミナー等の開催支援、漁業就業フェアの開催及び支援制度等に関する情報提供 				
◆販路開拓と出荷体制の強化	既存販路の継続及び新たな販路の拡大				
	<ul style="list-style-type: none"> ●(株)大東冷蔵： 県内外商談会への出展、産地見学会の開催、ふるさと納税返礼品取り扱い等による販路の拡大 ●(株)小島水産： 県内外商談会への出展、ふるさと納税返礼品取り扱いや個別の商談等による販路の拡大 ●県（中央漁業指導所等）： 県内外商談会等の紹介、商談会の出展等に係る支援制度の情報提供、関係者への橋渡し 				
◆加工体制の強化・新商品の開発	加工施設の拡張		新商品の開発		
	<ul style="list-style-type: none"> ●(株)小島水産： 加工施設の規模拡大及び高性能加工機械の導入による加工商品の生産能力の強化 ●県（地域本部等）： 産業振興推進総合支援事業費補助金等の活用に係る支援 		<ul style="list-style-type: none"> ●(株)小島水産： コンセプトづくり、試作品づくり、市場調査（消費者の意見集約）、製造方法等の検討、商品改良、商品化の実現 ●県（地域本部等）： 試作品づくりへのアドバイスを得るための産振アドバイザーの活用提案、加工品試作に係る支援制度の情報提供 		

修正項目（案）

修正前

高幡地域アクションプラン

分野

商工業

AP名 (実施地域)	No.22 津野町地産地消・外商販売戦略 (津野町)
実施主体	◎(有)津野町ふるさとセンター、(株)満天の星、(一財)天狗荘、津野町
APへの位置づけ	H21. 4月
事業概要	(有)津野町ふるさとセンターによる生産・流通、(株)満天の星による加工・販売、(一財)天狗荘による観光など、オール津野町で一体的かつ循環的に地産地消・外商戦略を進めるために、アンテナショップ等での拠点ビジネスを安定させるとともに、農家所得の向上と交流人口の拡大を図る。

指標	出発点	実績				目標
		R2	R3	R4	R5	R5
(1) 直販所総販売額	1.36 億円 (H30)					1.40 億円
(2) (株)満天の星売上	2.07 億円 (H29.10月～H30.9月)					2.49 億円 (R4.10月～R5.9月)

これまでの主な動き

<これまでの取り組みの内容>

◆出荷量の確保と高付加価値の農産物の出荷

- ・直販所役員会、研修会等の開催（H28～、102回）
- ・生産者への堆肥の配布（H28～、38.5t）
- ・集荷所の老朽化や段差の解消（H28～）
- ・国の山村活性化支援交付金を活用した6次産業化に向けた特産品の開発（H29～）

◆津野町産品の外商力の強化

- ・奥四万十博、幕末維新博関連のイベント開催や季節、周年イベント等の開催（H28～）
- ・直販所施設及び輸送機材の更新（H28～）
- ・商談会、催事への出展（H28～）
- ・販促イベントへの参加（H28～）
- ・輸送トラック（保冷車）の更新（H29）
- ・商品ラインナップの充実のための機械導入
- ・経営計画改善のための産振アドバイザー導入（H29）

◆津野町まるごと総合商社の設立と安定経営

- ・国の地方創生推進交付金を活用した商社化スキームや事業計画の検討（H29～）

- ・津野町ブランド調査の実施

（H30:2回、R元:2回）

- ・町内事業者ヒアリングの実施（H30～）

<主な成果>

◆直販所会員の確保

505人（H30度末、うちH30新規会員22人）

<課題>

- ・直販所出荷量の維持・確保
- ・高齢の生産者の農作業の負担軽減
- ・高齢の生産者が出荷しやすい仕組みづくり
- ・「満天の星」ブランドの認知度向上
- ・津野町産品や観光資源を一体的に売り出すための地域商社の設立及び安定経営

第4期計画における行程表						
主な取り組み	R2	R3	R4	R5	R6以降	
◆出荷量の確保と高付加価値農産物の出荷	出荷量の安定的な確保と高付加価値農産物の出荷					
	<ul style="list-style-type: none"> ●津野町：営農指導員の設置、一次処理加工施設の整備、津野町堆肥センター等の堆肥使用促進 ●(有)津野町ふるさとセンター：農産物の生産管理、町内外レストラン等が求める生産物の提案、品質認証や買取制度の検討と導入、勉強会・研修会の開催 ●県（地域本部等）：各種支援制度に関する情報提供、関係機関への橋渡し 					
◆津野町産品の外売力の強化	担い手対策					
	<ul style="list-style-type: none"> ●津野町：担い手の確保策の検討、高齢者にやさしい集荷所の整備、集荷体制の見直し ●(有)津野町ふるさとセンター：農作業受託の検討、加工食品や伝統料理の勉強会の開催 ●県（地域本部等）：各種支援制度に関する情報提供、関係機関への橋渡し 					
◆津野町産品の外売力の強化	外商力の強化による販売促進					
	<ul style="list-style-type: none"> ●津野町：町内外直販所のあり方の検討 ●(株)満天の星、(有)津野町ふるさとセンター、(一財)天狗荘：「満天の星」ブランド力の磨き上げと県内外への外商・卸売の強化、製造・販売・営業コストの見直しによる収益向上、津野町産品の商品ラインナップの充実、多角化とネット販売・ふるさと納税返礼品取り扱い等の強化、商談会への積極的な出展等による営業力の強化 ●県（地域本部等）：県版 HACCP 第3ステージの認証取得に向けた提案、各種支援制度に関する情報提供、関係機関への橋渡し 					
◆津野町まるごと総合商社の設立と安定経営	商社設立					
	<ul style="list-style-type: none"> ●津野町：商社スキームと組織体制の確立 ●県（地域本部等）：商社設立に向けた協議への参画、助言等 					
		商社の安定経営				
		<ul style="list-style-type: none"> ●津野町：経営計画にもとづく進捗管理 ●県（地域本部等）：安定経営のための産業振興アドバイザーの活用提案、土佐 MBA 等の講座等の紹介、各種支援制度に関する情報提供、関係機関への橋渡し 				
<p>【用語】・HACCP：「Hazard Analysis and Critical Control Point」の略。日本語では「危害分析重要管理点」と訳されており、「ハサップ」と呼ばれている。製造における重要な工程を連続的に監視・記録することによって、一つひとつの製品の安全性を保証しようとする食品の衛生管理手法のこと。</p>						

AP名 (実施地域)	No.24 津野町地産地消・外商販売戦略 (津野町)
実施主体	◎(有)津野町ふるさとセンター、(株)満天の星、(一財)天狗荘、津野町
APへの位置づけ	H21. 4月
事業概要	(有)津野町ふるさとセンターによる生産・流通、(株)満天の星による加工・販売、(一財)天狗荘による観光など、オール津野町で一体的かつ循環的に地産地消・外商戦略を進めるために、アンテナショップ等での拠点ビジネスを安定させるとともに、農家所得の向上と交流人口の拡大を図る。

指標	出発点	実績		目標
		R元	R2	R5
(1) 直販所総販売額	1.36 億円 (H30)	1.29 億円		1.40 億円
(2) (株)満天の星売上※1	2.07 億円 (H30)	2.01 億円		2.49 億円

※1 会計年度：10～9月

これまでの主な動き

<p><これまでの取り組みの内容></p> <p>◆出荷量の確保と高付加価値の農産物の出荷</p> <ul style="list-style-type: none"> ・直販所役員会、研修会等の開催（H28～、102回） ・生産者への堆肥の配布（H28～、38.5t） ・集荷所の老朽化や段差の解消（H28～） ・国の山村活性化支援交付金を活用した6次産業化に向けた特産品の開発（H30～R2） <p>◆津野町産品の外商力の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・奥四万十博、幕末維新博関連のイベント開催や季節、周年イベント等の開催（H28～） ・直販所施設及び輸送機材の更新（H28～） ・商談会、催事への出展（H28～） ・販促イベントへの参加（H28～） ・輸送トラック（保冷車）の更新（H29） ・商品ラインナップの充実のための機械導入（H29） ・産業振興アドバイザーを活用した経営計画の改善（H29） 	<p>◆津野町まるごと総合商社の設立と安定経営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国の地方創生推進交付金を活用した商社化スキームや事業計画の検討（H29～） ・津野町ブランド調査の実施（H30:2回、R元:2回） ・町内事業者ヒアリングの実施（H30～） <p><主な成果></p> <p>◆直販所会員の確保</p> <p>504人（R元、うちR元 新規会員22人）</p> <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・直販所出荷量の維持・確保 ・高齢の生産者の農作業の負担軽減 ・高齢の生産者が出荷しやすい仕組みづくり ・「満天の星」ブランドの認知度向上 ・津野町産品や観光資源を一体的に売り出すための地域商社の設立及び安定経営
------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

第4期計画における行程表					
主な取り組み	R2	R3	R4	R5	R6以降
◆出荷量の確保と高付加価値農産物の出荷	出荷量の安定的な確保と高付加価値農産物の出荷				
	<ul style="list-style-type: none"> ●津野町：農業アドバイザーの設置、一次処理加工施設の整備、津野町堆肥センター等の堆肥使用促進 ●(有)津野町ふるさとセンター：農産物の生産管理、町内外レストラン等が求める生産物の提案、品質認証や買取制度の検討と導入、勉強会・研修会の開催 ●県（地域本部等）：各種支援制度に関する情報提供、関係機関への橋渡し 				
	担い手対策				
	<ul style="list-style-type: none"> ●津野町：担い手の確保策の検討、高齢者にやさしい集荷所の整備、集荷体制の見直し ●(有)津野町ふるさとセンター：加工食品や伝統料理の勉強会の開催 ●県（地域本部等）：各種支援制度に関する情報提供、関係機関への橋渡し 				
◆津野町産品の 外商力の強化	外商力の強化による販売促進				
	<ul style="list-style-type: none"> ●津野町： <ul style="list-style-type: none"> 町内外直販所のあり方の検討 ●(株)満天の星、(有)津野町ふるさとセンター、(一財)天狗荘： <ul style="list-style-type: none"> 「満天の星」ブランド力の磨き上げと県内外への外商・卸売の強化、製造・販売・営業コストの見直しによる収益向上、津野町産品の商品ラインナップの充実、多角化とネット販売・ふるさと納税返礼品取り扱い等の強化、商談会への積極的な出展等による営業力の強化 ●県（地域本部等）： <ul style="list-style-type: none"> 県版 HACCP 第3ステージの認証取得に向けた提案、各種支援制度に関する情報提供、関係機関への橋渡し 				
◆津野町まるごと総合商社の設立と安定経営	商社設立検討 各社の基盤強化と連携				
	<ul style="list-style-type: none"> ●津野町： <ul style="list-style-type: none"> 商社スキームと組織体制の検討 ●県（地域本部等）： <ul style="list-style-type: none"> 商社設立に向けた協議への参画、助言等 		<ul style="list-style-type: none"> ●津野町： <ul style="list-style-type: none"> 各社の基盤強化と連携 ●県（地域本部等）： <ul style="list-style-type: none"> 安定経営のための産業振興アドバイザーの活用提案、土佐 MBA 等の講座等の紹介、各種支援制度に関する情報提供、関係機関への橋渡し 		
<p>【用語】・HACCP：「Hazard Analysis and Critical Control Point」の略。日本語では「危害分析重要管理点」と訳されており、「ハサップ」と呼ばれている。製造における重要な工程を連続的に監視・記録することによって、一つひとつの製品の安全性を保証しようとする食品の衛生管理手法のこと。</p>					

修正項目（案）

修正前

高幡地域アクションプラン

分野

観光

AP名 (実施地域)	No.27 須崎市立スポーツセンターを活用した体験型観光等の推進による地域の活性化 (須崎市) ※地域産業クラスター関連 (宇佐・浦ノ内地区資産資源クラスタープロジェクト)
実施主体	須崎市
APへの 位置づけ	H28.4月
事業概要	海洋スポーツを生かした体験型観光の充実を図るとともに、海洋スポーツに関するレジャー、イベントや合宿を通して交流人口の拡大を目指す。また、海洋スポーツの拠点として、地域住民のさらなる意識醸成にも取り組み、競技人口の増加等、海洋スポーツの振興を通じた地域の活性化を目指す。

指標	出発点	実績					目標
	H30	R2	R3	R4	R5	R5	
交流人口	20,836人					24,000人	

これまでの主な動き

<これまでの取り組みの内容>

◆海洋スポーツの振興

- ・すさきオープンウォータースイミングへの国内外有名選手の招へい、海外一般選手の参加に向けた取り組み (H29～)
- ・合宿モニター事業の実施 (H29～)
- ・合宿誘致への営業活動 (H29～)
- ・ホストタウン申請 3カ国 (オーストラリア、チェコ、ハンガリー) (H29)
- ・合宿誘致用のパンフレット作成 (H30)

◆魅力ある体験メニューの磨き上げ

- ・海上アスレチック等の体験メニュー導入に向けた備品整備 (H28～)
- ・海洋スポーツの振興に向けた人員の配置 (H30～地域おこし協力隊 2名)
- ・体験型観光の取り組みである「コモドウラノウチ」のHP作成 (H30)

◆地域の活性化

- ・須崎市内業者と連携した割引サービスの実施 (H30～)
- ・地域内にある住民組織との連携 (H28～)

◆施設の整備

- ・地方創生拠点整備交付金及び高知県スポーツ推進交付金の活用による整備 (坂内カヌー場バリアフリー化、坂内カヌー場管理棟、大島栈橋設置、大島管理棟、大島親水公園整備、トレーニング棟) (H28～)

<主な成果>

◆合宿受入人数

H28 : 330人 → H30 : 1,336人

◆すさきオープンウォータースイミングの参加者の増加及びインバウンドの取り組み

参加者数

H27 : 258人 → R1 : 322人

海外からの来場者数

H27 : 0人 → R元 : 8人

<課題>

- ・利用者増加に向けた広報活動の強化
- ・オリンピック・パラリンピック後の施設等活用の検討

第4期計画における行程表					
主な取り組み	R2	R3	R4	R5	R6以降
◆海洋スポーツの振興	2020 オリンピック・パラリンピックの受入		オリンピック・パラリンピック後の計画の検討		
	<ul style="list-style-type: none"> ●須崎市：オリンピック直前合宿の受入やオリンピック開催を契機とした市内のスポーツへの機運の向上へ向けた取り組み及びオリンピック終了後の取り組みの検討 ●県（地域本部等）：関係者間の調整等の支援 		<ul style="list-style-type: none"> ●須崎市：施設等のさらなる利活用やスポーツ振興及びスポーツツーリズムの促進体制の検討・実施 ●県（地域本部等）：目的に合わせた県のアドバイザー制度や補助制度の活用提案 		
	合宿等のプロモーション活動		合宿定着に向けた内容のブラッシュアップ		
	<ul style="list-style-type: none"> ●須崎市：企業・大学等へのPR活動、PRパンフレットの作成、合宿補助の検討・実施、ウェブサイトの作成 ●県（地域本部等）：広報等の支援、アドバイザー等制度の活用提案 		<ul style="list-style-type: none"> ●須崎市：受入体制の充実、PR活動の実施 ●県（地域本部等）：アドバイザー等制度の活用提案 		
全国大会等の海洋スポーツ大会誘致					
<ul style="list-style-type: none"> ●須崎市：競技連盟へのセールス、視察の受入れ、受入体制の充実 ●県（地域本部等）：関係者等への橋渡し 					
◆魅力ある体験メニューの磨き上げ	新たな体験メニューの検討		新たな体験メニューの実践及びブラッシュアップ		
	<ul style="list-style-type: none"> ●須崎市：体験メニューの検討、情報収集、スタッフの確保 ●県（地域本部等）：産業振興アドバイザー等の活用提案、サービス向上に関する研修等の紹介 		<ul style="list-style-type: none"> ●須崎市：体験メニューの実施、スタッフの研修 ●県（地域本部等）：産業振興アドバイザー等の活用提案、関係者等への橋渡し 		
	PRの強化				
<ul style="list-style-type: none"> ●須崎市：ウェブサイトの充実、マスコミを通じたPR、旅行会社・宿泊施設へのセールス ●県（地域本部等）：広報支援、関連する研修会・セミナーの紹介 					
◆地域の活性化	市内事業者等との連携強化の検討				
<ul style="list-style-type: none"> ●須崎市：市内での宿泊・飲食・土産品購入に向けた取り組み、施設利用者への特典の提供、集落活動センターうらのうち（浦ノ地区地域自主組織）・県漁協深浦支所との連携 ●県（地域本部等）：集落活動センター等関係機関との連携支援 					
◆施設の整備	研修棟の高度化改修				
<ul style="list-style-type: none"> ●須崎市：体験学習施設の建設 ●県（地域本部等）：高知県スポーツ推進交付金の活用に係る支援 					

AP名 (実施地域)	No.31 須崎市立スポーツセンターを活用した体験型観光等の推進による地域の活性化 (須崎市) ※地域産業クラスター関連 (宇佐・浦ノ内地区水産資源クラスタープロジェクト)
実施主体	須崎市
APへの 位置づけ	H28.4月
事業概要	海洋スポーツを生かした体験型観光の充実を図るとともに、海洋スポーツに関するレジャー、イベントや合宿を通して交流人口の拡大を目指す。また、海洋スポーツの拠点として、地域住民のさらなる意識醸成にも取り組み、競技人口の増加等、海洋スポーツの振興を通じた地域の活性化を目指す。

指標	出発点	実績		目標
		R元	R2	R5
交流人口	20,836人 (H30)	23,433人		24,000人

これまでの主な動き

<p><これまでの取り組みの内容></p> <p>◆海洋スポーツの振興</p> <ul style="list-style-type: none"> ・すさきオープンウォータースイミングへの国内外有名選手の招へい、海外一般選手の参加に向けた取り組み (H29～) ・合宿モニター事業の実施 (H29～) ・ナショナルチームによる合宿の実施 (R2) ・ホストタウン申請3カ国 (オーストラリア、チェコ、ハンガリー) (H29) ・合宿誘致用のパンフレット作成 (H30) ・OWS国際主要大会への選考大会へ選定 (R2) <p>◆魅力ある体験メニューの磨き上げ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海上アスレチック等の体験メニュー導入に向けた備品整備 (H28～) ・海洋スポーツの振興に向けた人員の配置 (H30～地域おこし協力隊2名) ・体験型観光の取り組みである「コモドウラノウチ」のHP作成 (H30) <p>◆地域の活性化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・須崎市内業者と連携した割引サービスの実施 (H30～) ・地域内にある住民組織との連携 (H28～) 	<p>◆施設の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地方創生拠点整備交付金及び高知県スポーツ推進交付金の活用による整備 (坂内カヌー場バリアフリー化、坂内カヌー場管理棟、大島栈橋設置、大島管理棟、大島親水公園整備、トレーニング棟) (H28～) <p><主な成果></p> <p>◆合宿受入人数 H28: 330人 → R元: 1,185人</p> <p>◆すさきオープンウォータースイミングの参加者の増加及びインバウンドの取り組み</p> <p>参加者数 H27: 258人 → R元: 322人</p> <p>海外からの来場者数 H27: 0人 → R元: 8人</p> <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者増加に向けた広報活動の強化 ・オリンピック・パラリンピック後の施設等活用の検討
----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

第4期計画における行程表					
主な取り組み	R2	R3	R4	R5	R6以降
◆海洋スポーツの振興	2020 オリンピック・パラリンピックの受入		オリンピック・パラリンピック後の計画の検討		
	<ul style="list-style-type: none"> ●須崎市：オリンピック直前合宿の受入やオリンピック開催を契機とした市内のスポーツへの機運の向上へ向けた取り組み及びオリンピック終了後の取り組みの検討 ●県（地域本部等）：関係者間の調整等の支援 		<ul style="list-style-type: none"> ●須崎市：施設等のさらなる利活用やスポーツ振興及びスポーツツーリズムの促進体制の検討・実施 ●県（地域本部等）：目的に合わせた県のアドバイザー制度や補助制度の活用提案 		
	合宿等のプロモーション活動		合宿定着に向けた内容のブラッシュアップ		
	<ul style="list-style-type: none"> ●須崎市：企業・大学等へのPR活動、PRパンフレットの作成、合宿補助の検討・実施、ウェブサイトの作成 ●県（地域本部等）：広報等の支援、アドバイザー等制度の活用提案 		<ul style="list-style-type: none"> ●須崎市：受入体制の充実、PR活動の実施 ●県（地域本部等）：アドバイザー等制度の活用提案 		
全国大会等の海洋スポーツ大会誘致					
<ul style="list-style-type: none"> ●須崎市：競技連盟へのセールス、視察の受入れ、受入体制の充実 ●県（地域本部等）：関係者等への橋渡し 					
◆魅力ある体験メニューの磨き上げ	新たな体験メニューの検討		新たな体験メニューの実践及びブラッシュアップ		
	<ul style="list-style-type: none"> ●須崎市：体験メニューの検討、情報収集、スタッフの確保 ●県（地域本部等）：産業振興アドバイザー等の活用提案、サービス向上に関する研修等の紹介 		<ul style="list-style-type: none"> ●須崎市：体験メニューの実施、スタッフの研修 ●県（地域本部等）：産業振興アドバイザー等の活用提案、関係者等への橋渡し 		
	PRの強化				
<ul style="list-style-type: none"> ●須崎市：ウェブサイトの充実、マスコミを通じたPR、旅行会社・宿泊施設へのセールス ●県（地域本部等）：広報支援、関連する研修会・セミナーの紹介 					
◆地域の活性化	市内事業者等との連携強化の検討				
<ul style="list-style-type: none"> ●須崎市：市内での宿泊・飲食・土産品購入に向けた取り組み、施設利用者への特典の提供、集落活動センターうらのうち（浦ノ地区地域自主組織）・県漁協深浦支所との連携 ●県（地域本部等）：集落活動センター等関係機関との連携支援 					
◆施設の整備	研修棟の高度化改修				
<ul style="list-style-type: none"> ●須崎市：体験学習施設の建設 ●県（地域本部等）：高知県スポーツ推進交付金の活用に係る支援 					